

# 「太陽の牙ダグラム」立体物新製品発売、 あるいは旧SAK再生産を要望する署名

株式会社タカラトミー 御中

mixi 内「太陽の牙ダグラムのプラモデル」コミュニティ  
代表 前田 雅之  
[http://mixi.jp/view\\_community.pl?id=322601](http://mixi.jp/view_community.pl?id=322601)

これは、株式会社サンライズ様制作TVアニメーション「太陽の牙ダグラム」の立体物（プラモデルあるいは完成品トイなどの立体物製品）の製作・発売していただく、あるいはそれが無理でも、過去に生産のあった、SAK（スケール・アニメ・キット）太陽の牙ダグラムシリーズの再生産、再販売をしていただけるよう要望し、ここに署名をするものです。

「太陽の牙ダグラム」は、ご存知の通り、1981年（昭和56年）10月23日から1983年（昭和58年）3月25日までテレビ東京様系列で地上波TV放送されていた、ロボットアニメーションです。その番組成立の経緯は、初期企画段階から、プラモデル製品の長期展開を視野に入れたものであり、マーケットにプラモデルユーザー層を意識した、当時としてはエポックメイキングな番組でした。また、番組自体の内容も、重厚な政治ドラマ、大変リアルなロボット、メカ、戦闘描写等が展開されており、その番組の完成度は、30年近くを経た今見ても、まったく色あせることの無い完成度を誇っています。また、視聴率好調であった上に、関連商品（特にデュアルモデルと呼ばれた完成品トイや、SAKシリーズと銘打たれた、プラモデルシリーズ）の売り上げも好調であったため、放映期間を1年から1年半へ延長されたとも聞き及んでおります。また、その後の人気もとどまるところ知らず、TV放送終了後には映画化も果たし、さらに知名度を上げた作品と認識しております。

当時およびその後の立体物展開を振り返りますと、放映当時のプラモデル、完成品トイの展開後、1998年、TV再放送にリンクする形で童友社様より一部プラモデル再販、また、御社より（タカラ時代）、1995年、2000年に渡り、2回のプラモデル再販がなされておりますが、いずれの場合にも、早期に市場より製品は姿を消してしまい、ファンに取りましては入手難な状況が続いております。また、最後の再販よりすでに10年近く経過しており、ファンの飢餓感は頂点に達しているといえるかと思えます。

昨今、80年代のTVロボットアニメーションが再評価を受け、次々と立体物（完成品トイ、プラモデルなど）が新規開発されている中、80年代名作の筆頭に上げられるであろう、また、当時プラモデル人気で非常に盛り上がりを見せた、「太陽の牙ダグラム」だけが取り残された形となっており、非常に残念な状況にあると感じております。

また、一昨年（2007年）冬に開催されました、ワンダーフェスティバル（株式会社海洋堂様主宰）での、御社ブースに置かれまして、本作品の新規製品の開発等を思わせる、ブース展示を拝見しましたが、その後1年以上経過した現在、その後の企画進行状況がユーザーであるわれわれには伝わってこない状況であり、このまま、新製品開発の機運を失ってしまうのでは、との危惧もあり、今回の署名に踏み切ったという経緯でございます。

## 【 要望 】

1. 「太陽の牙ダグラム」の立体物新製品を製作・発売してください。
2. 上記1. が難しい場合でも、旧SAK太陽の牙ダグラムシリーズの再販をしてください。

上記を御社に要望し、ここに署名をいたします。

	名前(本名)	住所	タカラトミーへのコメント、要望
1			
2			
3			

### ※署名される方へ（ご注意ください）

- ・ この署名は代表者を通じ、株式会社タカラトミー様へ責任を持ってお渡しいたします。
  - ・ 署名は直筆にてお願いいたします。
  - ・ ご署名の内容は、これ以外の用途に用いることはございません。また、運動終了と同時にすべて破棄致します。
- 署名用紙の送付はこちらまでお願いします。ご質問も以下にて承ります。

#### （送付先）

〒540-0036

大阪市中央区船越町2丁目4-5 2F

模型店クラフトマン

『ダグラムSAK再販企画』宛